

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 8 年 6 月定例会	
議案番号 議案名	議案第 3 号 令和 8 年度松戸市一般会計補正予算(第 2 回)
議員名・会派名等	公明党
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	以下の討論をもって、態度決定に至った理由といたします。 議案第 3 号 令和 8 年度松戸市一般会計補正予算(第 2 回)について、会派を代表して討論します。 まず、仮庁舎関係については、準備の進捗に伴い、様々な検討材料があると思いますが、仮庁舎移転の目的である市民と職員の安全第一に、市民サービスと市民の利便性の向上を目指し、引き続き準備を進めていただきたいと思います。 また、去年の仮庁舎移転の説明では、年間の賃料について、5 億 4 千万円の見通しと伺っていましたが、今後、有料駐車場の負担や銀行の市役所出張所の経費が追加で掛かっていくとの事でした。 本市の財政負担が厳しい状況にありますので、今後も想定される費用負担の把握に努めていただくよう、宜しくお願い致します。 次に、新庁舎整備についてです。 先の質疑の中で、「松戸駅周辺まちづくり基本構想」に掲げる将来像を実現するために、新拠点ゾーンが重要な拠点であることに変わりがないとの答弁をいただきました。 平成 28 年 6 月に、財務省と「松戸駅周辺新拠点ゾーンの土地利用検討に関する覚書」を交換して以来、多くの市民から松戸駅周辺のまちづくりが渴望され、新庁舎の選定場所においては、議会でも新庁舎の早期完成を求める中、そのまちづくりの実現のために、長い時間が費やされてきました。 しかしどうでしょうか。 新庁舎の現地建て替えの方針が新たに表明されましたが、この本市の重要テーマである新拠点ゾーン整備の方向性が未だ示されておりません。 支える場となる国有地は、市役所機能の再編が想定されてきましたが、この代替案についても不透明のままです。 また、松戸駅東口の入口となる、試みの場として、民間誘導による商

業・業務・文化複合施設の整備など期待されてきましたが、中心商業地のにぎわい、活性化をどう創出していくのか、こうしたことも置き去りになっています。

このような中、本市の大きな課題となっている担税力について、どのように打開していくのでしょうか。

我が会派の３月の代表質問でも申し述べましたが、仮庁舎への移転が決まった今、新たな新庁舎の整備計画については、新拠点ゾーン整備の方向性を取りまとめ、将来の計画的なまちづくりを示した上で、総合的な判断を市民と議会に求めるべきであると考えます。

まちづくりにおいては、地域全体の将来ビジョンと実行性のある計画の両輪が必要であります。

松戸市長、はじめ執行部の皆様におかれましては、松戸駅周辺まちづくりの千歳一遇のチャンスと捉え、将来このまちを生きる次の世代につなげていけるよう、まずは新拠点ゾーン整備の方向性を示すべきではないでしょうか。

よって、新庁舎整備計画の策定については、将来のまちづくりへの方向性が判断できないため、本議案には賛成しかねます。

以上、討論とさせていただきます。